

1 単元名 明治の国づくりを進めた人々

2 単元の指導目標

幕末から明治の初めにかけての社会の変化に着目して、政治や文化において活躍した先人の業績について調べ、考えることで、日本が欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めていたことを理解できるようにする。

3 単元について

(1) 児童の実態

本単元を設定するにあたり、以下のような実態調査を行った。

(調査日 平成28年*月*日 調査人数*人)

1 文化や文化財などが現在も保存・継承されている理由について、二つの資料をもとに記述する問題			
	・自分なりに根拠を示して考えを記述		*人
	・2つの資料を関連付けできていない記述		*人
	・抽象的な表現でのみ記述		*人
	・資料とは関係がない自分の考えを記述		*人
	・無答		*人
2 蘭学者や国学者の思いや願いについて記述する問題			
	・人物の業績や社会に与えた影響をふまえて思いや願いを記述		*人
	・人物の業績のみを記述		*人
	・「苦勞した」「大変だった」などの記述		*人
	・上記以外の記述		*人
3 未習事項に関する知識			
	(聞いたことが)	(人物の業績・明治維新の内容を)	
①大久保利通	ある*人 ない*人	知っている*人	知らない*人
②伊藤博文	ある*人 ない*人	知っている*人	知らない*人
③板垣退助	ある*人 ない*人	知っている*人	知らない*人
④明治維新	ある*人 ない*人	知っている*人	知らない*人

～児童の実態については非公開～

(2) 教材観

本教材は、小学校学習指導要領解説社会編第6学年の内容(1)キ「黒船の来航, 明治維新, 文明開化などについて調べ、廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かること」を受けて設定している。

この内容は、幕末から明治の初めにかけてのうち、黒船の来航, 明治維新, 文明開化などの歴史的な事象を取り上げ、これらを具体的に調べることを通して、我が国は廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かるようにすることをねらいとしている。

(3) 指導観

本単元は、学習指導要領で示されている取り上げなければならない人物が集中している。そのため、人物の業績や願い、それぞれの人物同士の関係を丁寧に読み取りながら、人物を通して社会的な事象の意味を考え、表現できるように学習を進めていく必要がある。そこで、その時代の様子や人物の業績、その人物がどのような思いで様々な改革を行ったのかを人物カードにまとめる活動を行う。また、個人の気付きやグループで出し合った意見を分類・整理するために思考ツールを活用する。各時間に作成した人物カードをそれぞれの人物の業績や世の中に与えた影響、人物同士の関係などを基に比較したり、関連付けたりし、さらに総合して考える活動を行うことで、児童の思考力を育てていきたい。そして、考えたことを基にそれぞれの人物の思いや願いを自分の言葉でまとめることで、明治の国づくりを進めた人々は日本をどのような国にしたかったのかをとらえさせたい。

本県学校教育指導方針の努力事項には、「考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合うことによりお互いの考えを深めていく言語活動の充実」が挙げられている。その具現化を図るため、社会的な事象の意味について考えたことを自分の言葉で表現し、友達と意見交流しながら思考を再構成する学習活動を多く取り入れたい。

4 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度①	社会的な 思考・判断・表現②	観察・資料活用の 技能③	社会的事象についての 知識・理解④
ア 江戸時代末期から明治期始めに活躍した人物の働きや代表的な文化遺産などに関心を持ち、意欲的に調べようとしている。	ア 江戸時代末期から明治期始めに活躍した人物の働きについて学習問題や予想、学習計画を考え表現している。 イ 江戸時代末期から明治期始めの主な事象について調べたことを比較・関連付けし、さらに総合して考えることで、先人の願いや働きを適切に表現している。	ア 江戸時代末期から明治期始めに活躍した人物の働きについて地図や年表、その他の資料を活用して、必要な情報を集め、読み取っている。	ア 黒船の来航により我が国は開国し、江戸幕府がたおれるきっかけとなったことを理解している。 イ 廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い、欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。

5 単元の指導計画(全8時間)

段階	時間	学習課題及び学習活動	指導上の留意点と評価規準◎〈評価方法〉
導入 追究	1	① 風刺画や写真資料を見て、気付いたことや疑問に思うことを基に話し合い、学習問題をつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">明治の人々は、日本をどのような国にしたかったのだろう。</div>	・それぞれの資料を丁寧に読み取らせ、当時の日本が置かれている立場や世界の動きを考えられるようにする。 ◎風刺画や写真資料から江戸時代から明治時代の変化について関心をもっている。 ①ア（観察，発表）
	2	② 学習課題をもとに単元の学習を見通し、学習計画を立てる。③ 江戸幕府が倒れる	◎資料を読み取り、気付いたことや疑問に思ったことを基に、学習問題を設定している。 ②ア（観察，ノート）
	3	までの様子や明治維新の中心となった人物について調べ、新しい世の中に変わるきっかけについて話し合い、人物カードにまとめる。	・学習問題に対する予想を分類・整理し、教師と児童が協働で学習計画を立てる。
	4	④ 欧米に学んだ大久保利通らが、どのような国づくりを目指したのかを調べる。また、明治維新を進めた理由を話し合い、人物カードにまとめる。	◎学習問題を解決するために調べる内容や活用すべき資料を考え、学習計画を立てている。 ②ア（観察，発表）
	5	⑤ 板垣退助と自由民権運動について調べ、人物カードにまとめる。	・ペリー来航や諸改革、自由民権運動等が、新しい世の中に変わるきっかけになったことをおさえる。
	6	⑥ 各地でつくられた憲法案や伊藤博文がつくった憲法案について調べ、人物カードにまとめる。	◎若い武士たちが江戸幕府よりも強い政府が必要と考え、明治維新を進めたことを理解している。 ④ア（ワークシート） ・それぞれの改革にどのような意味があったのかを考えさせ、まとめる。
	7	⑦ これまでの学習を振り返り、明治維新を進めた人々がどのような国づくりを目指したのかをまとめ、役割演技を行う。	◎大久保利通らの政策のねらいや願いを表現している。 ②イ，④イ（ワークシート） ・政府に不満をもつ人々の行動が、反乱から言論へと変化したことに気付かせる。 ◎政府に不満をもつ人々の行動が反乱から言論へと変化していったことを、板垣退助の願いや行動と関連付けて考えている。 ②イ（観察，ワークシート） ・憲法をつくった伊藤博文の思いがどのようなものであったかを考えさせる。 ◎大日本帝国憲法の特色について、資料を活用して調べ、憲法をつくる意味について考えている。 ②イ，③ア（観察，ワークシート）
まとめ	8 本時	⑧ これまでの学習を振り返り、明治維新を進めた人々がどのような国づくりを目指したのかをまとめ、役割演技を行う。	・それぞれの人物の業績や思いを相互に関連付けさせることで、どのような国づくりを目指したのかを考えさせる。 ◎明治維新を進めた人々が欧米列強に負けない国づくりを目指していたことを表現している。 ②イ（観察，ノート）

6 本時の活動

(1) 本時の目標

明治維新を進めた人々が欧米列強に負けない国づくりをめざしたことを、役割演技を通して表現することができる。

(2) 準備・資料

写真資料，人物の肖像画，ワークシート，ホワイトボード

(3) 本時の展開

	学習課題・学習活動	指導の手立て ◎評価規準 ○学習を見取る視点 ☆ラーニングスキル
つかむ 3分	1 本時の学習問題を確認し、学習の進め方を知る。 明治維新を進めた人たちは日本をどんな国にしたかったのだろう。	・本時の学習問題と学習の進め方を確認する。
考える 10分	2 人物カードを分類・整理し、それぞれの人物がどのような国づくりを目指したのかを考える。 取り上げる人物 西郷隆盛 ・ 木戸孝允 大久保利通 ・ 板垣退助 伊藤博文	・思考ツールを活用してカードを分類・整理する。 ・それぞれの人物を線や矢印で結んだり、キーワードを書き込んだりすることで、それぞれの人物の役割や関係をとらえられるようにする。 ☆複数の資料から効果的に読み取る。 ○業績や関係ごとに分類・整理している。
深める 12分	3 グループで話し合う。 (1) 人物を一人取り上げ、その人物の思いや願いを発表する。 それぞれの意見を交流する。 話し合う視点 ・その人物がどのような思いや願いをもっていたのかを話し合う。	・これまで学習してきたことを振り返らせ、明治維新を進める上で最重要人物を選ばせる。 ・役割演技をするために選んだ人物がどのような思いや願いで政策を行ったのかを考えさせる。 ・自分の考えとの違いや共通点を意識しながら友達の発表を聞くように声をかける。 ☆疑問点を整理して意見や質問をしながら話し合う。 ○調べた情報から人物の思いや願いを自分なりに考え、表現している。
15分	4 全体で交流する。 (1) クラスワークで役割演技を行いそれぞれの人物の思いや願いを発表する。 (2) 本時の学習のまとめをする。 予想される児童の反応例 ・欧米の国に認めてもらえるような国にしたかった。 ・産業や政治でも外国に負けない国づくりをめざした。 まとめ 明治維新を進めた人たちは、日本を欧米に負けないような強い国にしたかった。	・歴史的人物になりきって発表できるように場の設定を工夫する。 ・根拠を明確にして人物の思いを発表できるようにする。 ・各グループが発表したことを参考にし、自分の考えをもう一度整理させる。 ☆疑問点を整理して意見や質問をしながら話し合う。 ○人物の思いや願いを自分なりに考え、表現している。 ◎明治維新を進めた人々がどのような国づくりをめざしたのかを考え、表現している。 ②イ（観察，ノート）
振り返る 5分	5 本時の学習問題についての振り返りをする。	・学習で分かったことや身に付いた力を振り返り、ノートにまとめさせる。 ・友達と考えを交流させ、新しく発見したことや自分の考えが深まったことについて、自分の言葉でまとめている。